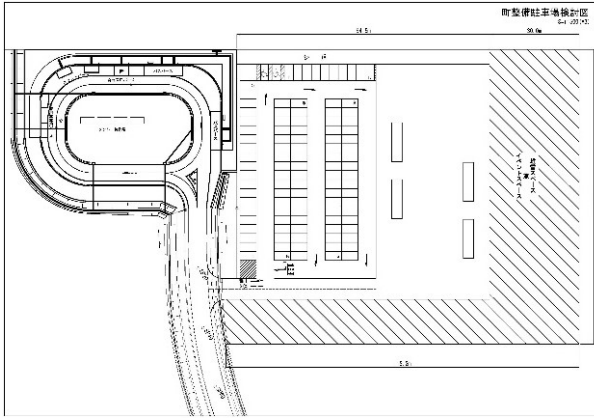
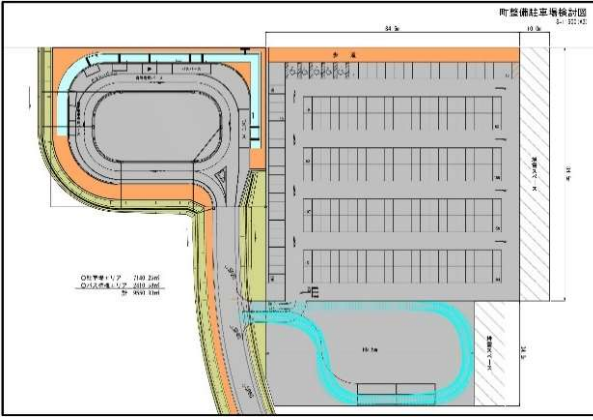
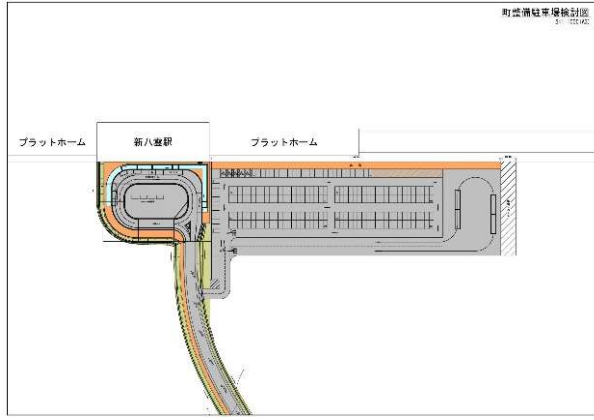


駐車場案について

1. 新八雲（仮称）駅の駐車場配置図（案）の概要

	案① 基本計画を基にした駐車場	案② 基本計画から拡張した駐車場	案③ 基本計画から拡張した 駐車場（本線並行配置案）
配置図			
概要	基本計画で算出された駐車台数を基に配置した案。	基本計画で算出された駐車台数をベースに、拡張した駐車台数を配置した案。	基本計画で算出された駐車台数をベースに、拡張した駐車台数を、本線並行に配置した案。
メリット	3案の中で最も整備費・維持費を抑えられる。 - 駐車場の利用が想定より多い場合、拡張することも可能。	大容量の駐車場を整備することで、競合駅（新函館北斗駅や長万部駅等）からの需要の転換を促進できる可能性がある。	
	ピーク時の利用者の想定が基本計画以上であった場合、イベントスペース等の場所に駐車する必要がある。（駅から少し離れるた	ピーク時の利用者の想定が基本計画程度であった場合、過大な整備費・維持費を費やすこととなる。	- ピーク時の利用者の想定が基本計画程度であった場合、過大な整備費・維持費を費やすこととなる。 - 本線並行に配置する場合、案②と比べ、歩道の整備費が高くなる。 - 駐車場の停車位置によっては、駅まで距離があり、不便とを感じる利用者もいるかもしれない。
計画案②・③に対して下記を検討 1. 有料化した場合のレイアウト 2. 有料化エリアには屋根を整備 3. 1および2の場合の概算工事費 ➡			

2. 検討の諸条件

■駐車場の有料化

- ・②案、③案それぞれに対して一部有料化した場合のレイアウトおよび概算工事費を算出する。
- ・有料化エリアはたたき台パターンとして各案の駐車場エリアのうち、“半分”程度or“1/4”程度を有料化した場合で算出する。
- ・元の図面から有料エリア専用の動線を新たに検討し、動線の中に料金ゲートを設置する。

■有料エリアの屋根設置

- ・無料エリアとの差別化を図るため、有料エリアには屋根を設置する。

■国際シンボルマーク(車椅子マーク)への駐車について

- ・次ページ以降、車椅子マーク部も有料となっているが、実運用上は、無料仕様にする

3. 有料化した場合の計画検討パターン

案②基本計画より拡幅した駐車場配置案 【駐車場エリアの“半分”程度を有料化】

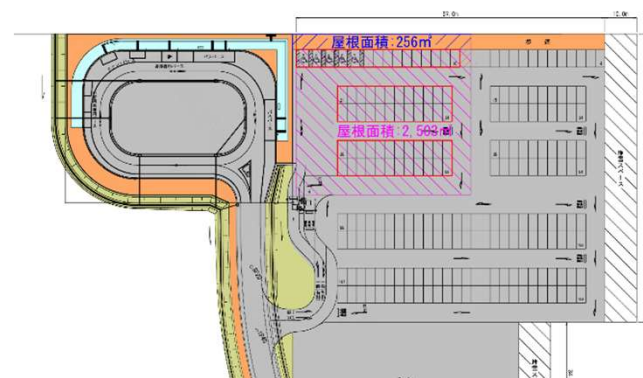
—: 有料駐車マス



全駐車台数 一般: 216台 身障者用: 5台のうち
有料駐車場台数 一般: **116台** 身障者用: **5台**

案②基本計画より拡幅した駐車場配置案 【駐車場エリアの“1/4”程度を有料化】

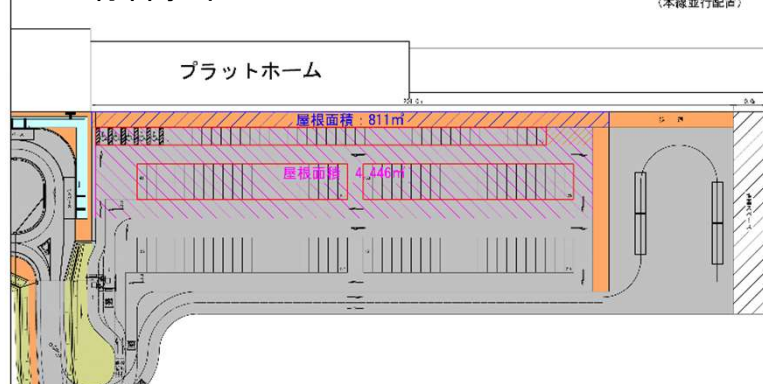
—: 有料駐車マス



全駐車台数 一般: 216台 身障者用: 5台のうち
有料駐車場台数 一般: **58台** 身障者用: **5台**

案③基本計画より拡幅した駐車場配置案(本線並行) 【全駐車台数の“半分”を有料化】

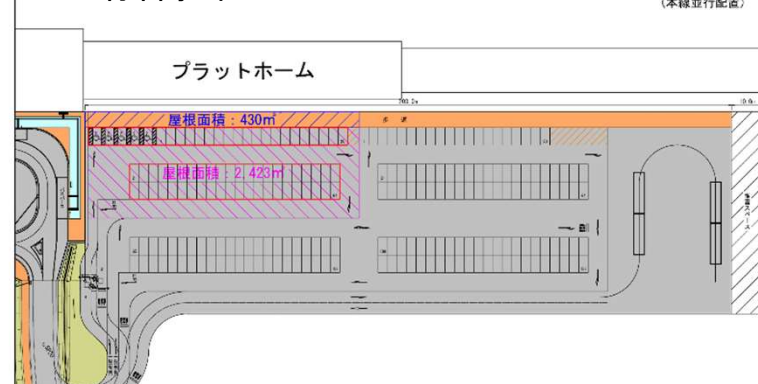
—: 有料駐車マス



全駐車台数 一般: 216台 身障者用: 5台のうち
有料駐車場台数 一般: **128台** 身障者用: **5台**

案③基本計画より拡幅した駐車場配置案(本線並行) 【全駐車台数の“1/4”を有料化】

—: 有料駐車マス



全駐車台数 一般: 216台 身障者用: 5台のうち
有料駐車場台数 一般: **64台** 身障者用: **5台**

4. 駐車場ゲートのイメージ



概略図



- ・一般的な出入口精算ゲートを想定
- ・事前精算機（設置位置未協議、駅舎構内が理想）を設置可能
- ・クレジット、電子マネー、QRコード対応可能

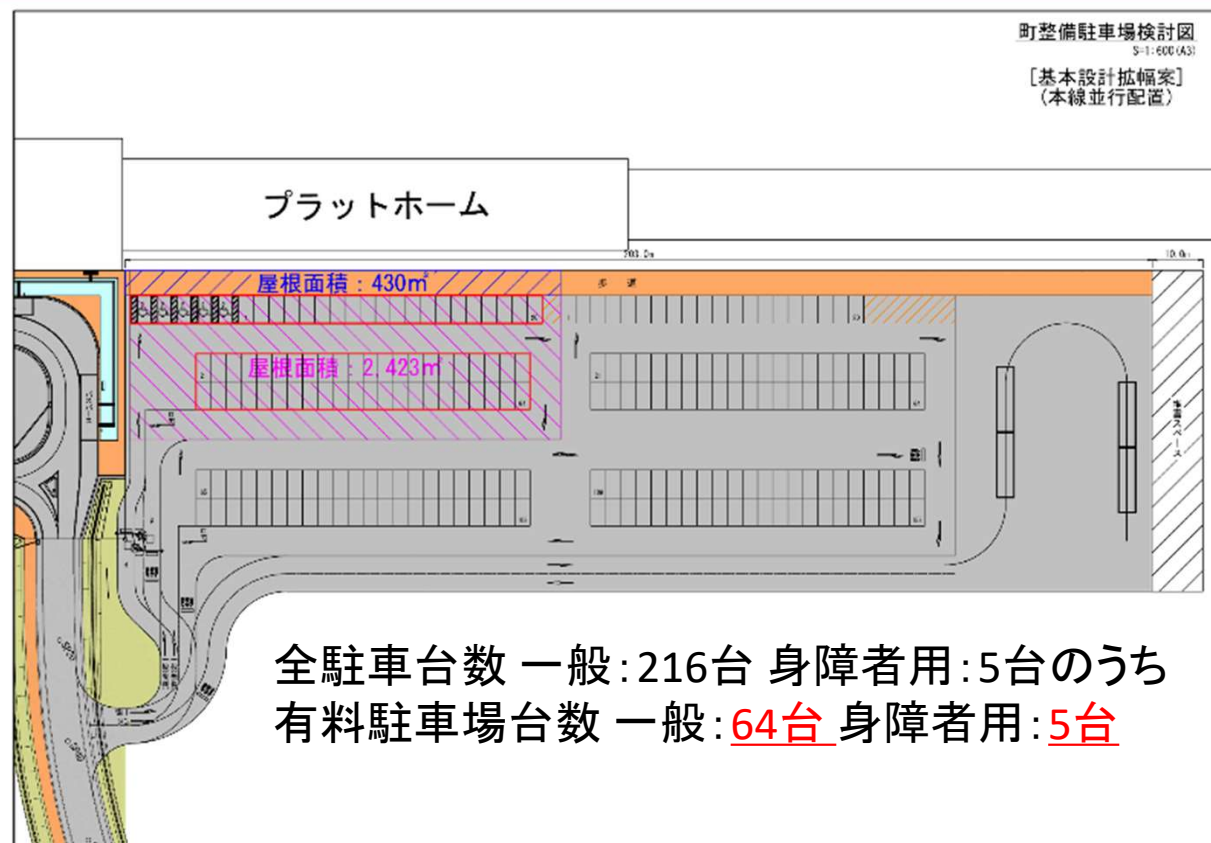
5. 有料化した場合の計画検討パターン 【概算工事費】

案②基本計画より拡張した駐車場配置案 【全駐車台数の“半分”を有料化】	案②基本計画より拡張した駐車場配置案 【全駐車台数の“1/4”を有料化】
・駐車場整備 $12,736.7\text{m}^2 \times 20,000\text{円/m}^2 \div 254,734,000\text{円}$ ・駐車場ゲート 80,000,000円 ・屋根 (面積⇒延長換算) 【駐車場】$1,000\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 320,000,000\text{円}$ 【歩道】$99\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 31,680,000\text{円}$ <u>計 686,414,000円 (駐車場ゲート無606,414,000円)</u>	・駐車場整備 $12,547.7\text{m}^2 \times 20,000\text{円/m}^2 \div 250,954,000\text{円}$ ・駐車場ゲート 80,000,000円 ・屋根 (面積⇒延長換算) 【駐車場】$550\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 176,000,000\text{円}$ 【歩道】$56\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 17,920,000\text{円}$ <u>計 524,874,000円 (駐車場ゲート無444,874,000円)</u>
案③基本計画より拡張した駐車場配置案(本線並行) 【全駐車台数の“半分”を有料化】	案③基本計画より拡張した駐車場配置案(本線並行) 【全駐車台数の“1/4”を有料化】
・駐車場整備 $13,975.4\text{m}^2 \times 20,000\text{円/m}^2 \div 279,508,000\text{円}$ ・駐車場ゲート 80,000,000円 ・屋根 (面積⇒延長換算) 【駐車場】$1,560\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 499,200,000\text{円}$ 【歩道】$162\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 51,840,000\text{円}$ <u>計 910,548,000円 (駐車場ゲート無830,548,000円)</u>	・駐車場整備 $14,043.4\text{m}^2 \times 20,000\text{円/m}^2 \div 280,868,000\text{円}$ ・駐車場ゲート 80,000,000円 ・屋根 (面積⇒延長換算) 【駐車場】$850\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 272,000,000\text{円}$ 【歩道】$86\text{m} \times 320,000\text{円/m} = 27,520,000\text{円}$ <u>計 660,388,000円 (駐車場ゲート無580,388,000円)</u>

【条件】

- ・駐車場整備単価は20,000円/m²を想定(造成、舗装、区画線、雨水排水)
- ・駐車場ゲートはメーカーヒアリングにより、80,000,000円を想定(設置こみ)して各案に計上
- ・屋根(単体)は320,000円/m(過去事例による)として計上

6. 八雲町駐車場整備方針（案）



- ・ホームから極力アスファルト面が見えないようにしたいことから駐車場形状は本線並行の方針とする
- ・整備費用の削減を図りたいことから、屋根一般駐車台数は64台の方針とし、歩道の必要性について、今後検討する
- また、アスファルト舗装についても開業当初は概ね半分程度とする
- ・駐車ゲートについて(有料化)は、開業当初は設置せず全台無料方針とする
- ➡ 駐車状況を見極め、開業後検討する